

## 沖縄県公認心理師協会新型コロナウイルス感染症こころのケア対策本部の設置について

沖縄県公認心理師協会では、COVID-19(新型コロナウイルス)感染症に関わって生じる多様な心理的問題に対して、他機関と連携しつつ、迅速かつ継続的に支援を提供することで沖縄県民のこころの健康に資するため、新型コロナウイルス感染症こころのケア対策本部を4月26日に設置しました。

### 1. 基本方針

沖縄県公認心理師協会は、新型コロナウイルス感染症が爆発的に流行する昨今においても、それが消沈した後の社会においても、沖縄県民のこころの健康を支える責務を負うものと考えます。新型コロナウイルスによって受けるこころの影響は、一人一人によって異なります。また、それは時を追うごとに変化します。

沖縄県公認心理師協会は、個人の特性やおかれた状況、立場、時期等に応じて、タイムリーに、適切に、関連する諸団体と連携しながら、こころのケアを提供していきます。

### 2. 対象

新型コロナウイルス感染症に関わって心のケアを必要とする方々。例えば、罹患者、罹患者の家族や親族、罹患者を亡くした遺族等、支援に携わる医師、看護師、保健師、技師等の支援者、対策行政に関わる方々、生活に困難や不安を抱える方々、罹患の不安を抱える方々等。

### 3. 活動内容

#### ①研修・啓発活動(リーフレット等資料作成/支援者研修(内・外))

- ・対象者に応じたこころのケアに関する最低限の情報を記したリーフレットを作成し提供する。
- ・会員、その他の支援者、その他要望のある対象に研修の機会を提供する。

#### ②心のケア遠隔相談事業

保健所と連携し、保健師が一定のスクリーニングを行った上で、要支援者を県師協に紹介する。要支援者の希望する媒体(Zoom, 電話等)によって一定の枠の範囲で個別の遠隔相談を提供する。

対象は、指定のホテルで経過観察を行う患者、保健所に電話相談をしてきた人の中で適当と認められる相談者、その他。この他、保健所、医師会、及び学校や行政機関から紹介された方

#### ③会員による活動の後方支援

会員が各職場で求められる支援の補助・助言等。

#### 4. 組織体制

本部長：平安会長

副本部長：伊藤

事務局：野村(れ)

情報整理・広報担当：平山，滝

資料作成担当：比嘉，吉元，赤嶺

会員支援担当：宮良，及び各領域担当理事

遠隔相談事業担当：吉元，伊藤，草野

外部調整担当：事務局長

学校担当：比嘉，保健所担当：野村（学），仲村，医師会：早田，原国，畠中

事業管理担当：榎木（倫理），渡久山

#### 5. 遠隔相談事業について

##### (1)活動概要

期間：令和2年5月7日～当面の間

相談回数：1回～3回程度（複数回行う場合には，1週間程度の間を空けて）

相談時間：30～45分程度（記録を含め，支援者は1回1時間の対応とする）

##### (2)方法

多様な手段による遠隔相談の場を提供する。手段は，電話，Zoom，Skype等を用い，相談者の要望に沿いながら，対応可能な支援者が対応する。支援の内容や支援者の要望に応じて，支援者が応答している間，LINE等でいつでもヘルプが出来るサポーターが2名待機し，必要な情報を検索したり，必要に応じてアドバイスをする。

##### (3)手続き

- ・県師協は当会会員から支援員を募り，対応可能な日時，手段等をリスト化しておく。
- ・窓口担当が専用携帯電話を持ち，架電に対応する。
- ・窓口担当は相談者のニーズと希望日時，手段を聴取し，対応可能な支援者とサポーターを調整する。
- ・支援者が相談者に連絡を取り，「相談の際の約束事」を伝えた上で相談を開始する。
- ・相談中には，サポーター2名もいつでも対応できるよう準備しておき，LINE等でヘルプが入った際には迅速に回答する。
- ・継続の希望がある場合には，次回の日時を取り決めて継続しても構わないが，3回程度までとし，近隣の機関を紹介する。

#### 6. 本件に関する問い合わせ先 沖縄県公認心理師協会事務局 [office@okiscpp.jp](mailto:office@okiscpp.jp)

以上